

平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月2日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 妙徳
コード番号 6265 URL <http://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中森俊雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉田清輝

TEL 03-3759-1491

四半期報告書提出予定日 平成24年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	495	△22.4	76	△44.6	82	△42.0	49	△35.3
23年12月期第1四半期	638	—	138	—	142	—	76	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 54百万円 (△36.0%) 23年12月期第1四半期 85百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	6.46	—
23年12月期第1四半期	9.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	3,617	3,048	84.1
23年12月期	3,667	3,032	82.5

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 3,041百万円 23年12月期 3,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	2.50	—	3.50	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,072	△26.0	127	△59.7	128	△59.9	75	△59.8	9.79
通期	2,251	△14.2	297	△42.6	300	△43.1	179	△42.5	23.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期1Q	8,285,000 株	23年12月期	8,285,000 株
24年12月期1Q	574,159 株	23年12月期	567,159 株
24年12月期1Q	7,714,818 株	23年12月期1Q	7,975,327 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3 (3)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が残る中、震災復興需要や自動車産業の復調による内需の回復と米国景気の復調や円高が一服したことなどによる輸出の改善などから、全体として緩やかな回復基調にありました。一方、原油高や今夏の電力不足懸念、中国をはじめとする新興国の成長鈍化など先行きに不安を抱えた状況で推移いたしました。

当業界におきましては、企業の設備投資意欲の回復による需要改善はみられたものの、生産の海外移転や当業界の主要市場である半導体製造装置業界の業績低迷もあり、厳しい状況が継続いたしました。

このような環境下、当社グループは、販売面では、日本を含むアジアを一つのマーケットとしてとらえ、情報の共有を図り、環境に配慮した省エネルギー製品シリーズの拡販をさらに押し進めました。

また、生産面では、円高メリットを活用した海外からの原材料調達をより一層推進するとともに、海外子会社での生産比率を高めることによってコストダウンに取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は495,465千円（前年同期比77.6%）、連結経常利益は82,783千円（前年同期比58.0%）、連結四半期純利益は49,804千円（前年同期比64.7%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

東日本大震災からの国内自動車産業の復調による需要の回復はありましたが、半導体製造装置業界の業績低迷や長期化する円高などにより、売上高は394,794千円（前年同期比75.5%）となりました。営業利益については63,987千円（前年同期比53.5%）となりました。

② 韓国

半導体製造装置業界の需要が戻りつつありますが、軟調に推移したことにより、売上高は57,475千円（前年同期比89.7%）となりました。営業利益については7,949千円（前年同期比81.1%）となりました。

③ その他

中国市場における中国経済成長の減速懸念や、東南アジア地域におけるタイ洪水の影響に伴う需要の減少により、売上高は43,196千円（前年同期比83.6%）となりました。営業利益については4,487千円（前年同期比51.8%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ10,424千円減少し、1,453,754千円となりました。これは主として、現金及び預金が82,424千円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が94,439千円減少したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ40,274千円減少し、2,163,374千円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ50,699千円減少し、3,617,129千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ57,372千円減少し、291,629千円となりました。これは主として、未払法人税等が20,007千円、賞与引当金が19,583千円増加したのに対し、1年内返済予定の長期借入金が104,740千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ9,924千円減少し、276,499千円となりました。これは主として長期借入金が10,972千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ67,296千円減少し、568,129千円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ16,597千円増加し、3,048,999千円となりました。これは主として利益剰余金が11,215千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は84.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの連結業績予想につきましては、第1四半期の実績に鑑み、変更をいたしておりませんが、今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方式に変更しております。

なお、これによる潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額に与える影響はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	414,225	496,649
受取手形及び売掛金	658,544	564,104
製品	145,782	160,382
仕掛品	94,430	89,696
原材料	102,517	90,344
繰延税金資産	19,368	22,638
その他	29,456	30,264
貸倒引当金	△144	△326
流動資産合計	1,464,179	1,453,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,287,474	1,289,949
減価償却累計額	△550,835	△562,057
建物及び構築物（純額）	736,638	727,892
機械装置及び運搬具	719,798	717,605
減価償却累計額	△439,604	△450,753
機械装置及び運搬具（純額）	280,193	266,851
土地	744,109	745,439
その他	404,707	406,211
減価償却累計額	△347,440	△356,904
その他（純額）	57,266	49,307
有形固定資産合計	1,818,209	1,789,491
無形固定資産	161,752	153,520
投資その他の資産		
投資有価証券	138,529	133,102
繰延税金資産	20,687	21,277
その他	64,469	65,982
投資その他の資産合計	223,687	220,362
固定資産合計	2,203,648	2,163,374
資産合計	3,667,828	3,617,129

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,290	51,321
1年内返済予定の長期借入金	144,724	39,984
未払法人税等	17,613	37,620
賞与引当金	22,976	42,560
役員賞与引当金	14,315	—
その他	99,082	120,143
流動負債合計	349,001	291,629
固定負債		
長期借入金	141,040	130,068
退職給付引当金	118,874	117,136
その他	26,508	29,295
固定負債合計	286,423	276,499
負債合計	635,425	568,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	945,766	945,766
利益剰余金	1,476,967	1,488,182
自己株式	△119,711	△121,106
株主資本合計	3,051,146	3,060,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,600	17,932
為替換算調整勘定	△46,499	△36,962
その他の包括利益累計額合計	△23,898	△19,029
新株予約権	5,154	7,062
純資産合計	3,032,402	3,048,999
負債純資産合計	3,667,828	3,617,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	638,508	495,465
売上原価	292,113	220,805
売上総利益	346,395	274,659
販売費及び一般管理費	207,908	197,928
営業利益	138,487	76,731
営業外収益		
受取利息	121	90
為替差益	2,778	5,229
受取地代家賃	1,131	1,670
受取保険金	167	22
助成金収入	2,500	—
その他	571	295
営業外収益合計	7,270	7,308
営業外費用		
支払利息	2,167	897
売上割引	314	34
減価償却費	—	299
その他	480	24
営業外費用合計	2,963	1,256
経常利益	142,794	82,783
特別利益		
固定資産売却益	—	1,013
特別利益合計	—	1,013
特別損失		
固定資産除却損	1,272	—
災害による損失	20,292	—
特別損失合計	21,565	—
税金等調整前四半期純利益	121,229	83,797
法人税、住民税及び事業税	52,905	35,295
法人税等調整額	△8,663	△1,302
法人税等合計	44,242	33,993
少数株主損益調整前四半期純利益	76,987	49,804
四半期純利益	76,987	49,804

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	76,987	49,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	481	△4,667
為替換算調整勘定	8,016	9,536
その他の包括利益合計	8,498	4,869
四半期包括利益	85,485	54,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,485	54,673
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	韓国	計				
売上高							
外部顧客への売上高	522,770	64,081	586,852	51,656	638,508	—	638,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	75,896	19,525	95,422	2,195	97,617	△97,617	—
計	598,667	83,607	682,274	53,852	736,126	△97,617	638,508
セグメント利益	119,492	9,796	129,289	8,661	137,951	536	138,487

(注) 1 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、「中国」「タイ」であります。

2 セグメント利益の調整額536千円は、各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	韓国	計				
売上高							
外部顧客への売上高	394,794	57,475	452,269	43,196	495,465	—	495,465
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55,148	15,773	70,922	3,556	74,479	△74,479	—
計	449,942	73,248	523,191	46,753	569,944	△74,479	495,465
セグメント利益	63,987	7,949	71,936	4,487	76,423	308	76,731

(注) 1 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、「中国」「タイ」であります。

2 セグメント利益の調整額308千円は、各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第1四半期連結会計(累計)期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結会計(累計)期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。